

(1枚につき、5名様まで有効)
開館時間：午前9時30分～午後5時
休館日：毎週月曜日(祝日などの場合は翌日)

切り取ってご利用ください

〒321-1431 日光市山内 2388-3 TEL: 50-1200
ホームページ <http://www.khmoan.jp/>

特別企画「風景写真の基礎講座—日光の街を歩いて写真を撮ろう」

世界遺産「日光の社寺」の建造物をはじめとした日光の風景を描いた作品を紹介する展覧会「日光東照宮400年式年大祭記念 社寺を描いた絵画展」に合わせて、日光を題材にした風景写真の撮り方を学ぶ講座を開催します。

紅葉に彩られる秋のひとつとき、日光の街を歩きながら、あなたのお気に入りの風景をカメラに収めてみませんか。



小杉未醒「神橋」
小杉放菴記念日光美術館所蔵

開催日時：10月24日(土)午前9時30分～午後4時

※小雨決行。ただし台風などの荒天時には参加者へ中止の連絡をします

講師：篠原誠司氏(足利市立美術館学芸員)

対象：中学生以上

定員：20名(申し込み先着順)

開催場所：美術館

参加費：700円(プリント代・保険料など含む)

申込方法：10月1日(木)～20日(火)までに美術館へ電話

持ち物：デジタルカメラ(コンパクト、一眼レフ、ミラーレスなど)

※スマートフォンや携帯電話は不可

お気に入りの探そう!



ジンジャくん



あなたの健康寿命、延ばしましょう!

元気な健康! 健康課健康推進係 ☎(21)2756

◎「日光市健康づくり推進条例」を制定します!

生涯にわたり笑顔で元気に暮らすには、健康であることが何より重要です。また、生活習慣病になる人や介護が必要な人が増える中、健康寿命を延ばすことが必要となっています。そこで、健康づくりの推進について基本的な事項を定め、皆さんが心身ともに健やかに歳を重ねていくことのできる地域社会の実現を目指して、条例を制定します。

「健康づくり」の基本とは?

条例では次のように定めています。
○健康づくりは、市民一人一人の心身の状態などに応じて主体的かつ継続的に行われなければならない。
○健康づくりは、市民、関係団体、事業者および市の連携・協働により推進されなければならない。
※市民は、心身の状態に応じて健康づくりに取り組み、また市民の健康を支えるために、社会全体で健康づくりを推進するこ

とが基本となります。

※条例について詳しくは、広報にっこう11月号と同時配布の概要版をご覧ください

条例制定記念イベント開催!

健康レシピで有名なタニタ社員食堂健康セミナーなど、健康づくりに役立つ内容です。入場無料です。ぜひご参加ください。

日時：10月25日(日)午後0時30分

開場、午後2時開演

場所：道の駅「日光」日光街道二

コニコ本陣 ※市役所本庁舎からシャトルバス運行予定

対象：市内に在住または勤務、在

学、市内の団体に活動している方

定員：250名 ※要事前申込み

応募者多数の場合は抽選

主な内容：基調講演(木村内科医

院長木村安志氏)、健康セミナー

他 ※午後0時30分から体組成

計測定会を実施(先着100名)

申込方法：10月15日(木)までに健

康課へ電話またはFAX、メール ※住所・氏名・年齢・電話番号・託児の有無を明記

ぶらり日光ブランド探訪 vol.18

くわしくは
総合政策課 日光ブランド戦略室 ☎(21)5131

【今月の日光ブランドは「龍王峡」】

龍王峡は、今から2200万年も昔、海底火山の活動によって噴出した火山岩が鬼怒川の流れによって侵食され、現在のような景観になってきたといわれています。川治温泉と鬼怒川温泉の間、約3キロにわたる日光国立公園に属する景勝地で、その名の通り、まるで龍がのたうつ姿を思わせる迫力のある大景観が広がっています。

岩怪石の渓谷美や滝などを身近に感じながらトレッキングを楽しむことができます。龍王峡



は奇岩怪石で有名ですが、岩質の違いによって大きく3つの区間に分けられます。龍王峡駐車場から遊歩道を進み虹見橋を過ぎると、両岸が白っぽくなってきます。このあたりは白龍峡と呼ばれ、かめ穴や流紋岩の割目などの景観が楽しめます。むささび橋を過ぎたあたりからは、岩の色は青っぽく変わってきます。火山灰が堆積してできた緑色凝灰岩の奇岩が両岸を彩り、青龍峡と呼ばれます。その先は紫龍峡と呼ばれ、海底火山活動の初期に流出した紫がかつた安山岩で形成されます。散策コースの途中には、五龍王神社、虹見の滝、堅琴の滝、五光岩などがあり、春のヤシオツツジ、夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色と一年を通じて大自然の美しさを堪能することが出来ます。特にこれからの季節、むささび橋から見る龍王峡の紅葉は絶景です。また、トレッキング後に入る温泉は格別。皆さんも秋の龍王峡へ出かけてみてはいかがでしょうか?

進め! 地域おこし協力隊

くわしくは
地域振興課 地域振興係 ☎(21)5147

三依地域おこし協力隊の中井です。昨年4月に移住し、間もなく1年半が経とうとしています。今回は今年度から始動した取り組みについて紹介します。

「三依はなあ：東北だぞ!」そんな脅しを受けて迎えた初めての冬、その言葉に偽りなく大雪の洗礼を受けました。関東圏でこれだけまとまった雪、この資源を使っ

て何か変わった名物を作れないだろうか? そうだ三依は雪国だ! 冬の厄介者から貴重な資源へ変えていこう、そんな取り組みがスタートしました。

それは、雪下にんじん栽培実験です! 雪下にんじんは、本格的な成長時期を雪の下で迎えさせることにより、寒さに耐えたにんじんがより甘くなるという栽培方法です。実は私はにんじんが苦手なのですが、雪下にんじんは食べられました。

特に、雪を利用した保存方法ではなく栽培方法にこだわったのは、三依の深刻な問題の一つ、獣

害があります。普通に路地栽培をしていたら収穫がなくなってしまう程の状況で、電気柵や大掛かりなネットなどは設置も管理も大変です。そこで栽培時期をずらし雪下で育てることで、獣害のリスクにさらされる期間を短縮出来ないだろうかとの期待も込めての実験でした。

今年の夏は畑を借りて、ひたすら耕し、土作り、種まきと冬に向けての準備をしています。おかげで真っ黒に日焼けし「愛のメモリー」が歌えそうになった、そんな夏でした。

雪下にんじん作りは勉強すればするほど奥が深く、春に収穫できるようさらに精進していきます。

続報をお待ちください!



畑作業を行う中井隊員